

とやま

県広報

2007. 4 vol.421

- 特集…平成19年度県予算
- とやま的!…とやまの森づくり
- 県政の動き…1月～5月
- 元気とやま目安箱
- とやま旬レシピ…たけのこ
- もっと知りたいとやま
- とやまお出かけサイト

表紙の人

子育て応援

とやまの

井波商店会の皆さん 前列左から

小西鉄雄さん(すし店)、高田佳充さん(電気店)

青木尚子さん(よいとこ井波)、崎田栄輔さん(酒店)

大井甚吉さん(ふとん店)、武田範夫さん(菓子店)

「とやま子育て応援団」に加盟全店(67店舗)で参加している井波商店会。毎月第3日曜日は、お子様連れのお客様にポイント2倍サービスを行っています。「小さい時からお店に来ていただいて、「おなじみさん」になってほしい」と会長の高田さん。10%割引のお菓子屋さん、子供ふとん10%引のふとん屋さんなど独自サービスを行うお店もあります。その一方で「優待券を持ってこない人が多くて残念」という声も。まず知っていたらこうと、定期的なチラシの発行に加え、4月にはサービス期間を延長し、抽選会など楽しいイベントも企画しています。「買物しながら親子の会話が広がれば」と商店会の皆さん。子どもたちの笑い声が響く商店街をめざします。

※毎月第3日曜日から始まる1週間を中心に、18歳以下の子ども連れで優待券を持参した家族に、協賛店が設定している優待サービスを行う事業



【平成19年度に取り組む主な行政改革】

- 1 簡素効率化の推進と新たな政策課題に対応するための組織整備**
 - ・出納長制度を廃止し、会計管理者を設置
 - ・新たな政策課題、重要施策に対応（地域振興の推進、北陸新幹線の整備促進、物流戦略の推進、教育行政の見直しと充実、医師・看護師の確保、中央病院の充実強化）
 - ・試験研究機関の見直し
- 2 公の施設の見直し**
 - ・流杉老人ホーム、県立長生寮を民間移管
 - ・二上青少年の家、黒部青少年の家、利賀少年自然の家を用途廃止
 - ・指定管理者制度の活用によるサービスの向上と経費の節減
- 3 人件費の抑制**
 - ・18年度から5年間で教育・警察部門などを含め職員総数の5.2%（861人）を削減
 - ・職員等の給料の臨時的な減額措置の継続
- 4 職員の能力・資質向上と意識改革**
 - ・業績評価制度の継続実施
- 5 事業の点検・見直し**
 - ・669件の事業を見直し、約27億5千万円を節減
 - ・入札制度の改革、共通事務の効率化等による業務改革の推進
 - ・企業広告の本格実施
- 6 外郭団体の見直し**
 - ・（財）富山県いきいき長寿財団、（財）富山県福祉事業団を廃止
 - ・10団体において経営改善等を実施

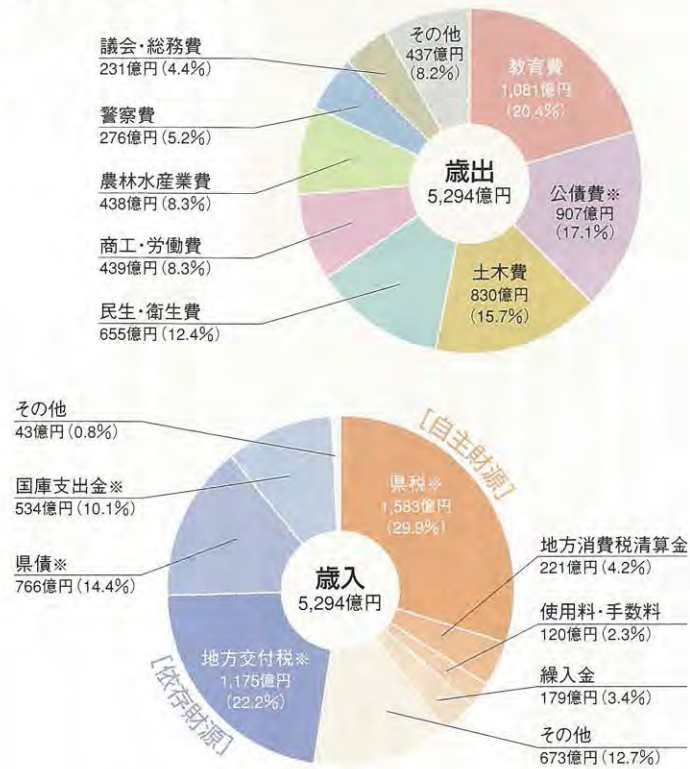
【用語解説】

- ※**県税**…県民税や事業税など、県が徴収する税金。
- ※**地方交付税**…どこの地域においても標準的な行政サービスを提供するために必要な税金等が不足している地方公共団体に対して、国から交付されるお金。地方公共団体が使い道を定めることができる。
- ※**県債**…道路や学校など長期間利用する公共施設の整備のために、県が借り入れるお金で、将来利用する住民にも費用を負担してもらうもの（通常債）。これ以外に、地方交付税の財源が不足しているために、県がお金を借り入れる臨時財政対策債などがある（特別債）。
- ※**国庫支出金**…国が使用目的を特定して交付するお金で、国庫補助金・負担金などがある。
- ※**公債費**…県債の返済に使うお金。

このページの
お問い合わせは 県庁 財政課
076-444-3167

URL http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1105/index.html

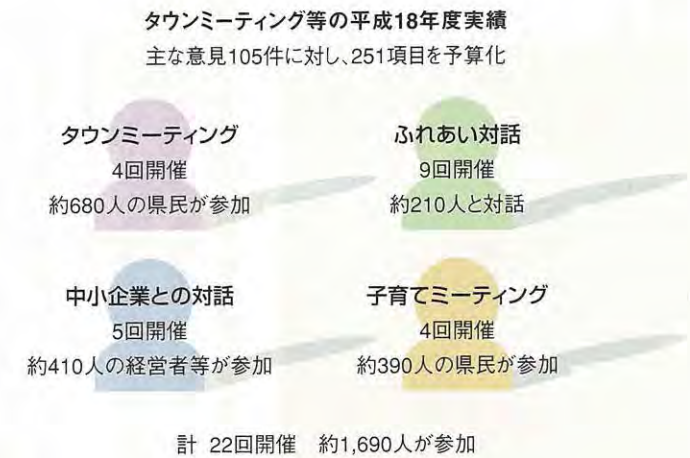
平成19年度 当初予算



県民の皆さんとよむせじ
今後とも、タウンミーティングやふれあい対話などの県民の皆さんとの対話を重視しながら、県民の皆さんが希望と誇りを持って、ふるさと富山県を創っていききたいと考えています。

また、富山の豊かな森林を次代に引き継ぐため、「水と緑の森づくり税」を財源として、里山や奥山の再生など、「森づくりプラン」に即した緊急度が高い事業を進めます。

的に取り組むほか、県民の皆さんの安全や生活に欠かせない身近な社会資本の整備を進めます。



「対話」と「創造」の元気とやま創造予算 平成19年度県予算

未来の元気に投資します。



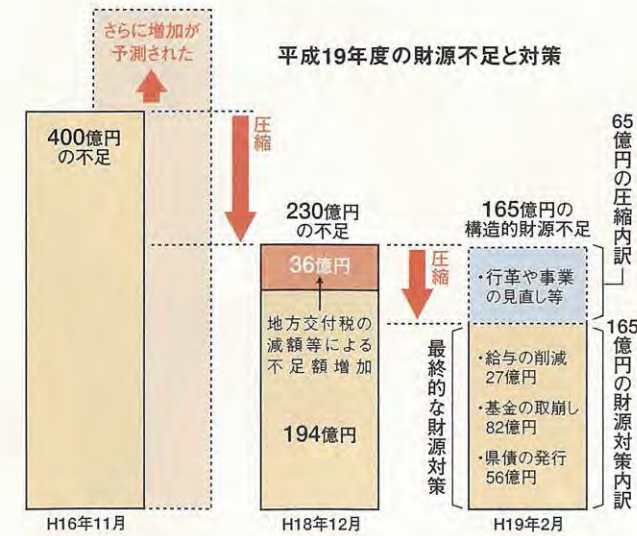
平成19年度の県予算が決定しました。その中味は、「財政再建」に留意しつつも、従来以上に「元気とやま」の創造を重視した「攻め」の予算。予算規模は、新幹線の負担金を含め、前年度比0.7%増の5,294億円と8年ぶりのプラス予算となっています。平成19年度は新しい総合計画がスタートする年。タウンミーティングなどで寄せられた県民の皆さんの意見を県政にしっかりと反映させるためにも、攻めの姿勢で県政運営に取り組み、未来に希望がもてる富山県を創っていきます。

予算編成方針
—— 財源再建の道すじ ——

2年前には約400億円あった財源不足は、今後見込まれる福祉や医療費等の増大により、手をこまねいては更に拡大するおそれがありました。このため、平成17年度から徹底した行財政改革や事業の見直しに取り組み、平成19年度予算では、財源不足を165億円まで縮小することができました。財源不足が解消したわけではありませんが、これまでの行財政改革の取組みが一定の成果をあげたことに加え、企業誘致などが順調に進み、税収も増えるなど、明るい兆しも見えています。そこで、平成19年度の予算編成にあたっては、引き続き財政再建に留意しながら、従来以上に「元気とやま」の創造を重視しました。

新総合計画の策定を踏まえ
「元気とやま」づくりを推進

●計画の着実な推進
この3月には、今後の県政運営の指針となる新たな総合計画「元気とやま」創造計画」を策定しました。社会情勢が大きく変化しているなかあって、計画では、時代



●未来の発展基盤を整備
本県の発展基盤となる北陸新幹線や富山駅付近の連続立体交差事業などに積極

の潮流を見据え、10年後の目標を明示しています。また、これを実現するため、「活力」「未来」「安心」の3分野にわたって55の政策を立て、取組みの基本方向や重点政策を掲げています。計画のスタートとなる平成19年度予算では、「元気とやま創造枠」(20億円)を設定し、新産業の創出、子育て支援、教育の振興、医療・福祉の充実など、新しい総合計画の先導的な取組みとなる事業やプロジェクトを戦略的に推進します。

「活力」「未来」「安心」の 3つの柱に沿って、主な施策を紹介します。



活力とやま

勤勉で粘り強く積極進取の気性に富む県民性、日本海側屈指の産業集積、豊かな水資源を活かし、創意工夫に満ちた取り組みが幅広い分野で展開されている、活力あふれる県づくりを進めます。

産業・経済の振興

- **新産業創出、起業支援**
- ・「とやま起業未来塾」での人材育成と、ベンチャー企業の新商品等の販路開拓支援
- ・「とやま医薬バイオクラスター」の新たな研究開発分野の発掘支援
- ・バイオ技術先端地のドイツ・イエナのバイオクラスターとの連携推進
- ・次世代ロボット技術に関する研究支援
- ・富山大学に設置予定のTLO(技術移転機関)と連携し、県有特許や大学の研究成果の県内企業への技術移転を促進

とやまブランドの確立

- ・ブランド化等に意欲のある業界団体と連携し、戦略的にPR活動等を実施
- ・東京アンテナショップ「いきいき富山館」の特産品等の展示販売を支援
- ・「越中とやま食の王国フェスタ(仮称)」を開催し、食・料理の魅力を県内外に発信
- ・「越中料理」の普及・PRに向けて、民間の知恵、力を活かしたイベントの開催を支援

交通・物流基盤の整備

- ・北陸新幹線の遅くとも平成26年度末までの開業や全線整備の早期実現に向けた関係機関への働きかけ
- ・伏木富山港の航路充実、利用促進のため、船会社に対する助成や荷主企業への奨励金交付制度の創設



富山駅周辺整備イメージ



起業活動に取り組む農村女性グループ



北陸新幹線工事

- **企業立地の促進、中小企業の振興等**
- ・本県の要請などを踏まえて制定される地域産業活性化法(仮称)に基づき、県の企業立地に関する基本計画を作成



企業立地の記者発表

- ・都市圏で企業立地セミナーや先端産業懇談会を開催
- ・企業再生支援資金の償還期間を延長
- ・地域の優れた技術や資源を活用した取り組みを支援する「とやま発 新事業チャレンジ支援基金」を創設
- ・建設業の新分野への進出等に向けたプラン策定・事業の立ち上げ支援
- ・「第16回北東アジア経済フォーラム」の開催など、環日本海地域の経済交流を促進

農林水産業の振興

- ・認定農業者等の育成、集落営農の組織化、経営規模の拡大などを支援

中心市街地の活性化等

- ・商店街の核店舗(生鮮食品や日用雑貨品店等)再生など「がんばる商店街」支援を拡充
- ・富山駅北地区や富岩運河環水公園の賑わいのある空間づくり
- ・富山市総曲輪地区等における再開発事業を支援

未来とやま

明日を担う人材が健やかに育まれ、郷土を愛し、自立した県民によつて多様な文化活動や美しい県土づくりが進められている未来への希望に満ちた県づくりを進めます。

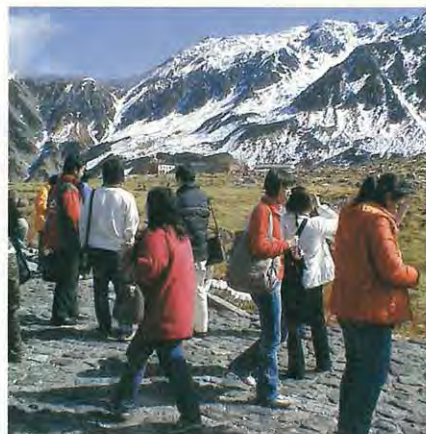
子育て支援

- **社会全体で支える子育て支援**
- ・放課後児童クラブ、放課後子ども教室、「とやまっ子さんさん広場」等の連携により総合的な子ども居場所づくりを推進
- ・地域の子育てを支援するシニア世代のボランティア人材を育成・登録
- ・「とやま子育て応援団」の協賛店等の拡大を図り、そのPR活動に助成
- ・次世代育成支援対策法に基づく中小企業行動計画の策定を支援し、子育て応援企業への支援施策を充実

- ・農地や農業用水等の地域資源を保全・管理する地域住民の取組みを支援
- ・認定農業者等が経営理念やマーケティング等について学ぶ「農業ニューリーダー育成講座」を開催
- ・農村女性による新商品開発等の起業活動に助成する「がんばる女性農業者支援事業」を実施

観光の振興

- ・新しい観光キャッチフレーズ等を活用し、東海北陸自動車道の全線開通等も見据えた重点的なキャンペーンを展開
- ・「おもてなし意識」の醸成を図るため、観光施設や企業が行う観光客受入態勢の整備を支援し、成果を上げている観光関係従事者を表彰
- ・中国、韓国、台湾において観光説明会等の開催、新たに香港の国際旅行博に出展するなど、海外からの誘客を促進



室堂を訪れた台湾からの観光客

明日を担う次世代の育成

- **親の役割や家庭教育についての学習プログラムを普及啓発**
- ・結婚を希望する男女の出会いをサポートする仕組みづくりや出会いの場の情報提供
- ・不妊治療費助成制度の年間助成額を拡充(年15万円→30万円・2回まで各15万円)

教育の充実等

- **学校教育の充実**
- ・「とやま型学び育成支援事業」を推進し、小・中学生の確かな学力を育成
- ・県内の全公立中学校へのスクールカウンセラーの配置、24時間相談電話の実施、いのちを大切にする教育の推進など、いじめ問題等に総合的に対応
- **生涯学習**
- ・団塊世代等を対象に、ボランティアで県民の学習活動を支える「はつらつ学びのリーダー」を養成

人材の確保と育成、男女共同参画の推進

- **若者や熟年世代のチャレンジ支援**
- ・県立職業能力開発校で企業ニーズに応じたオーダーメイド型訓練を本格導入
- ・熟練から若手へ、ものづくりの技を継承する「技能継承塾」を開催
- ・Uターン促進のため、首都圏等の大学に



県民歩こう運動の推進

患者の治療方針について指導を受ける研修医



地域イメージの発信・ブランド化を推進するロゴマーク



Uターンフェア イン とやま



- **福祉の充実**
 - **地域総合福祉の推進**
 - ・ 家庭、地域、事業所等が連携して高齢者や障害者等を援助するふれあいケアネット活動の実施地区数の拡充と、孤立化防止の取組みを推進
 - ・ 訪問看護ステーションの設備整備を支援する助成制度を創設
 - ・ 「介護あんしんアパート」や特別養護老人ホーム等の整備を支援
 - **障害者福祉の充実**
 - ・ 障害者自立支援法の円滑な運用に向け、利用者負担の軽減や新制度への移行に伴う施設改修への助成などの特別対策

- **健康づくりの推進**
 - ・ メタボリックシンドロームの予防に向けた運動習慣等の普及啓発
 - ・ 県民歩こう運動を推進するため、「とやまウォーキングカップ(仮称)」を開催
 - ・ 県産食材や伝統料理を盛り込んだ「富山型食生活メニュー」や「富山版食事バランスガイド」を作成し、食育を推進
 - ・ 平成22年度に開催予定の「第23回全国スポーツ・レクリエーション祭」の準備着手



世界文化遺産登録を目指す文化遺産(上から、高岡の瑞龍寺と雨晴海岸から望む立山連峰)

- **自主的な社会活動の推進**
 - ・ NPOの企画提案を实践する「とやま夢づくりNPO協働事業」を実施
 - ・ 団塊世代等のボランティア活動を推進するため、「アクティブシニア支援事業」を実施
- **男女共同参画の推進**
 - ・ 民間の女性管理職によるネットワーク会議の設置、女性オフィスリーダー研修会の開催、「女性が輝く元気企業とやま賞(仮称)」の創設など、女性のチャレンジ活動を総合的に支援

- **生活環境の保全**
 - ・ 環境問題をテーマに国際フォーラムを開催し、北東アジア地域の環境保全の取組みを推進
 - ・ レンガの削減を図るため協議会を設置し、削減手法等の検討や普及啓発を実施
 - **循環型・脱温暖化社会の構築**
 - ・ オフィスや家庭から出る温室効果ガスを削減するための活動指針・ガイドブックを作成
 - ・ リサイクル等を進めるため国連大学と連携してエコ・フォーラムを開催

- **自然環境・生活環境の保全**
 - **自然環境の保全**
 - ・ ナチュラリストが企画・提案した「自然ふれあい塾」を開催
 - **ツキノワグマなどの対策**
 - ・ 野生鳥獣共生管理員を増員し、市町村が実施する安全対策等への支援を拡充
 - ・ 担い手確保のため県猟友会が実施する各種講習会等の開催を支援
 - ・ クマなどの獣害対策等を進めるため、牛の放牧帯「カウベルト」を設置

- **くらしたい国(国)づくり**
 - ・ 「くらしたい国、富山」定住促進協議会(仮称)を設置し、首都圏でのセミナー開催や、とやま暮らし体験モデル事業を実施
 - ・ 「とやま夏期大学」の開催や、「シモン・ゴルドベルク記念音楽祭」の開催支援
 - ・ 田舎暮らし体験を通じて半定住を促進する「とやま帰農塾」を実施し、都市と農山漁村との交流を推進
 - **地域の魅力づくり**
 - ・ 新たな地域の魅力を創

- **芸術文化の振興**
 - ・ 平成20年度に開催予定の「世界子ども舞台芸術祭(仮称)」の調査事業を支援
 - ・ 「南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2007」の開催支援
 - ・ 近代美術館、水墨美術館、立山博物館において、ボランティアの確保と資質向上を図る研修会等を開催
 - ・ 利賀芸術公園での人材育成事業等により国際的な拠点づくりを二層推進し、中高生や県民向けの鑑賞会等を拡充
 - ・ 文化を活かしたまちづくり・地域づくりの取組みを支援

- **安全なまちづくり**
 - ・ 地域の防犯活動参加者を育成する「富山安全なまちづくりカレッジ」を開講
 - ・ 富山西警察署(仮称)の建設工事に着手し、警察官、交番相談員を増員するなど、警察力を充実
 - ・ 県や警察本部などの関係機関で構成する「くらしの安心ネットとやま」の啓発活動等を充実

- **生活交通の確保**
 - **地域公共交通の確保**
 - ・ 県内のバス、路面電車、鉄道に共通して使用できる交通ICカードシステムの導入可能性を検討
 - ・ JR西日本から経営分離される並行在来線の経営計画検討のための収支予測調査を実施
 - ・ NPO等による過疎地のバス運行を市町村とともに支援

- **医療の充実**
 - **がん対策**
 - ・ 県立中央病院や地域がん診療連携拠点病院、PETセンターとの連携・支援により「富山型がん診療体制」を充実
 - ・ 県立中央病院において、がん外来化学療法室の新設や緩和ケア病棟の拡充
 - **医師・看護師の確保**
 - ・ 医学生等修学資金貸与の拡充、「富山型後期研修システム」の構築を検討する

- **安心とやま**
 - ・ 豊かな自然や生活環境を活かし、住み慣れた地域の中で、健康で快適に、安全で安心して暮らせる県づくりを進めます。
- **医療の充実**
 - **がん対策**
 - ・ 県立中央病院や地域がん診療連携拠点病院、PETセンターとの連携・支援により「富山型がん診療体制」を充実
 - ・ 県立中央病院において、がん外来化学療法室の新設や緩和ケア病棟の拡充
 - **医師・看護師の確保**
 - ・ 医学生等修学資金貸与の拡充、「富山型後期研修システム」の構築を検討する
- **安全なまちづくり**
 - ・ 地域の防犯活動参加者を育成する「富山安全なまちづくりカレッジ」を開講
 - ・ 富山西警察署(仮称)の建設工事に着手し、警察官、交番相談員を増員するなど、警察力を充実
 - ・ 県や警察本部などの関係機関で構成する「くらしの安心ネットとやま」の啓発活動等を充実



Clip board

県政の今後の予定と最近の動きを紹介します。

※青い文字は写真を参照

今後の予定

- 4月8日 … 県議会議員選挙投票日
- 21日 … 知事のタウンミーティング(14:00～ 富山国際会議場)
- 22日 … 富山駅周辺景観デザイン シンポジウム(13:30～ ボルフアートとやま)
- 5月6日 … 「看護の日」記念事業(13:00～ サンフォルテ)
- 16日 … 日本公園緑地全国大会(13:30～ オーバード・ホール)
- 23日 … とやま森の祭典(10:30～ 黒部市宮野運動公園)



「少子高齢化社会の福祉・医療について」をテーマに明日の富山県を話し合うタウンミーティングを開催します。

最近の動き

- 1月10日 … 県男女共同参画審議会
- 13日 … 知事のタウンミーティング(富山市)
- 24日 … 県看護職員の養成のあり方検討会(写真①)
- 2月2日 … 有害鳥獣捕獲体制検討委員会
- 2日 … 全国高等学校スキー大会(～6日)(南砺市・富山市)
- 9日 … 第1回県入札契約適正化検討委員会
- 9日 … 地域がん診療連携拠点病院指定書交付式(写真②)
- 16日 … 次世代育成支援を考える企業トップセミナー
- 17日 … とやまPETセンター起工式
- 20日 … 平成19年度県予算発表
- 20日 … 元気とやまスポーツ大賞授与式
- 21日 … 県福祉機器開発推進会議設立総会
- 23日 … 県子ども政策県民会議
- 24日 … 創作「越中料理」コンテスト(写真③)
- 26日 … 2月定例県議会(～3/14)(写真④)
- 27日 … 県職業能力開発審議会
- 28日 … 活力とやま創造経済懇談会
- 3月1日 … 県安全なまちづくり推進本部
- 22日 … 県総合計画審議会



①看護職員の養成と確保のあり方についての報告書が2月15日に知事に提出された。



②7病院の代表者に知事から厚生労働大臣の指定書を手渡した。



③A部門(1,500円以内のお手軽定番メニュー)の最優秀作品。



④従来以上に「元気とやま」の創造を重視する平成19年度予算案などの提案理由を説明した。



・県産材の利用促進(ベンチや学童机の天板等の設置、公共施設の木質化の推進など)
 ・提案型事業の創設(「あなたが行う森づくり事業」募集 締切/5月15日※消印有効 詳細はホームページをご覧ください)
ポイント3 水と緑の森づくり税の導入
 今年度から、「水と緑の森づくり税」(個人/年間500円、法人等/県民税均等割額の5%)を導入。貴重な財源としてはこちら



ん、納税という形で幅広く参加していただくことで、森づくりへの関心を高める効果があると考えています。この税は、主として「里山林」と「混交林」の整備や、ポイント2で掲げた事業などに活用していきます。

interview

豊かな生態系が息づく森へ
 管理不十分な人工林や入ることさえめらわれる里山林が、森づくり税の活用により、県民はもちろん、動植物たちもいきいきと生活できる森林に蘇ることを期待します。また、森づくりにかかわることで、森林さらには地球環境保全の必要性を多くの人々が理解するきっかけになればと思います。

NPO法人森林総合支援センター 理事長
 森林インストラクター 鶴巻登志広

このページの
 お問い合わせは ☎076-444-3385

URL http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1603/index.html

とやま的！ とやまの 森づくり



私たちも、森に守られている。

県土の3分の2を占めるとやまの森。多種多様な生き物を育むだけでなく、水源のかん養、土砂災害の防止、レクリエーションの場など、私たちの暮らしに欠くことのできない大切な働きがあります。先人から引き継いだとやまの森をしっかりと守り育て、次の世代に引き渡すために、県民の皆さんと一緒に、新たな取組みをスタートしています。

とやまの森の現状

近年、「クマによる人身被害」や「風雪被害林の発生」など、とやまの森に変化が目立つようになりました。生活スタイルの多様化で放棄された里山、採算性が悪化し放置された人工林など、地域住民や森林所有者だけでは、とやまの森を守り育てるシステムが機能しなくなっているのです。現在、ボランティアなどによる整備が増えつつありますが、県全域に広げるには県民の皆さんの参加による森づくりが必要となっています。



森づくり条例と今後の活動

県では、森づくりに関して県民の皆さんに幅広くご意見をお聴きするため、平成17年8月に県民アンケートを実施。県民参加の森づくりには約92%の方が必要性を認識し、その財源として新たな税の導入にも約85%の方が賛成という結果が得られました。

こうした現状をふまえ、水と緑に恵まれた県土の形成と心豊かな県民生活の実現を目的に「富山県森づくり条例」を制定しました。今後、この条例に基づいて策定した「富山県森づくりプラン」により、森づくりを推進していきます。

ポイント1 多様な森づくり

県内の森林を4つに区分し、地域ニーズを反映した多様な森づくりを目指します(図1)。
 天然林
 「里山林」県民協働により多様な里山を再生する。
 「保全林」原則として自然の推移に委ね保全・保護する。

ポイント2 森を支える人づくり

とやまの森づくりサポートセンターを通じた森林ボランティアへの活動支援
 ・森づくりに関する総合情報システムの整備(森づくり活動の情報提供など)
 ・森林の大切さの普及活動(出前講座や森林教室など)

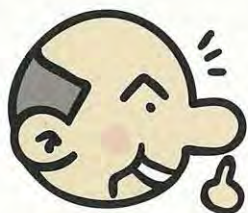
人工林

「生産林」循環型社会に貢献する持続的な木材生産を行う。
 「混交林」公益的機能の維持・向上と、木材資源の確保の両立を目指し、広葉樹とスギなどの混交林に誘導する。

図1



元 気 と や ま 目 安 箱



「元気とやま目安箱」から、新しい富山が始まっています。

県民の皆さんからの意見の積み重ねが、次の富山県の施策を生むベースになっています。積極的な政策提言には知事が回答するほか、県政への反映状況なども定期的に公表します。次は、あなたの声をお聞かせください。

Q 富山県は食料自給率が低いと思います。もっとスーパーの地産地消コーナーの設置などへの支援が必要ではないでしょうか。

A 富山県では米の生産が中心のため、自給率をカロリーベースで見ると72%（平成16年度）と高くなっていますが、野菜の自給率は約2割程度で全国平均の約7割よりも低くなっています。

近年、地元産の安全・安心な農産物を地元で消費する“地産地消”の考え方が見直されています。県では、担い手育成など生産体制の強化とともに、学校給食への導入や直売所・インショップ[※]開設支援などの取組みを行っています。これらの取組みを通じて、魅力的な県産品が、安定的に供給できるよう努めていきます。

[※]インショップ…地元農業者が、食品スーパーなどの店舗内にコーナーを設け、価格・規格等を設定して農産物を販売すること



Q 子育てには家庭教育が大切です。子供が5～6歳になるまで親を教育していくようなシステムを作ってはどうか。

A 教育委員会では、親子のふれあい、親の学びあい、社会全体の支えあいをキーワードに、学校、家庭、地域の連携のもと、元気な「とやまっ子」の育成を支援しています。



- ① 検診時に子育てのヒントとなる「家庭教育手帳」の配布
 - ② 家庭教育総合情報紙「家庭教育かわら版」の配布
 - ③ 宿泊体験で親子がふれあいを深める「とやま子育て自然体験事業」
 - ④ 保護者を対象に講演や学習会を行う「家庭教育アドバイズ講座」
 - ⑤ 家庭教育総合相談事業（子育てほっとライン、家庭教育カウンセリング、電子メール相談など）
- を実施するほか、新たに「親を学び伝える学習プログラム普及事業」として、思春期までの子をもつ親などを対象に、親の役割や家庭教育についての学習プログラムを作成し、普及啓発を図っていきます。


? この件の
お問い合わせは 県庁農林水産企画課
☎ 076-444-9622

? この件の
お問い合わせは 県教育委員会生涯学習・文化財室
☎ 076-444-3435



「元気とやま目安箱（知事への意見・提言）」係まで

- ◎はがき・手紙…〒930-8501（住所記入不要）県庁広報課 ☎FAX…076-444-3478
- ◎インターネット… URL <http://www.pref.toyama.jp/form.html>
- ◎これまで寄せられた意見… URL http://www.pref.toyama.jp/cms_cat/401010/kj00002016.html

 **もっ**と知**り**たい**と**や**ま**

4月の県政番組・お知らせ

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ [毎週土曜] 9:30~9:45

※放送時間を変更しました

7日…(番組はお休みです) 21日…人と生き物との共生
14日…富山の桜 28日…地域医療の確保

知ってナットク! 元気とやま情報チャンネル

富山テレビ [毎週日曜] 9:00~9:25 ※番組内容を変更しました

1日・8日…(番組はお休みです) 22日…水辺を活かしたまちづくり
15日…スポーツで富山を元気に! 29日…富山県就職最前線

富山メモリアルナイト チューリップテレビ [毎週火曜] 21:55~21:58

県が取り組んでいる事業やイベントの内容などを、わかりやすくタイムリーにお知らせします。

元気とやま情報スクエア FMとやま ※放送時間を変更しました

[毎週月~金曜] (最終金曜除く) 10:50~10:55、再 17:30~17:35
[毎月最終金曜] 10:50~11:00、再 17:30~17:40

※最終金曜は「知事の県政ざっくばらん」として、知事が最新の話題について語ります。

県からのお知らせ コミュニティFM各局

◎富山シティエフエム ◎ラジオたかおか ◎ラジオ・ミュー ◎エフエムとなみ
[毎週月曜朝] [毎週金曜夕方] 各2分半

県からのお知らせ [新聞広報] ※掲載回数が増えました

4月14日(土)、21日(土)、28日(土)の朝刊各紙に掲載予定

※21日(土)は、一部の朝刊には掲載しません。

富山県ホームページ URL <http://www.pref.toyama.jp/>

とやま旬レシピ



味のたけこの味噌煮

掘りたてなら下ゆでの必要が無いほど、アクが少なく柔らかいことで知られる高岡のたけのこ。穂先は刺身や和え物に、根元は煮物やてんぷらに、多彩な表情で食卓に並びます。なかでも味噌煮は丸ごと1本、分厚い輪切りが高岡流。味噌煮を食べると春の訪れを実感するという、旬ならではの味わいです。

■材料・分量 (4人分)

- たけのこ…320g
- 昆布…20cm角 1枚程度
- いなか味噌…大さじ4
- だし汁(かつお)…4カップ
- A(下ゆで用…米ぬか適宜、赤唐辛子2本)



作り方 (1人分/約65kcal)

- ① たけのこは皮付きのまま穂先を斜めに切り落とし、皮に縦の切込みを入れる。
- ② 大鍋に①とたっぷりの水、Aを入れて柔らかくなるまでゆで、ゆで汁につけたまま自然に冷ます。
- ③ たけのこの皮をむき、2cmほどの輪切りにする。
- ④ 鍋に③とだし汁、味噌、昆布を入れ、約1時間、煮ふくめる。

※かつおは味噌も自家製がほとんど。家庭によって、だしに煮干を使ったり、酒やみりん、しょう油、砂糖をかくし味に使ったり、家の数だけ「味噌煮」のバリエーションがある。※とろとろに煮とけた昆布も一緒にいただく。季節になると、たけのこと並んで「たけのこ昆布」も店頭に並ぶ。ワカメを入れる家もあるそう。

県 政 ク イ ズ (○の中に文字をいれてください。) ヒントはp.2 特集ページにあります。

平成19年度県予算は、総合計画策定を踏まえ「**〇〇とやま創造枠**」を設定します。

- 応募方法…はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載し、下記まで。
- 宛先…〒930-8501 (住所記入不要) 県庁広報課「県広報とやま4月号クイズ係」
- 締切…4月13日(金) (必着)

正解者の中から10名の方に、「**県産材で作ったブックスタンド**」をプレゼントします。



※当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。なお、発送予定日は4月16日(月)です。



富山県立図書館 知的好奇心に応えるデータバンク

生涯学習時代の県民ニーズに応えられるよう、機能の充実を図ってきた図書館。一般図書のほか、古絵図や戦災をまぬがれた貴重なコレクション、富山ならではの水文化資料や雪の文献など、文学作品から学術論文まで、郷土をテーマにした幅広い蔵書が特徴です。

催し…調べ学習に役立つ本の展示(参加無料) 期間…4/17(火)～5/13(日)

子どもたちの興味の方向が、様々に広がる調べ学習。自由な好奇心に応える本を集めました。

開館…9:00～19:00(土日祝日は～17:00)
休館…毎月曜日、第4木曜日(祝日の場合は翌日)、5/8、年末年始(12/28～1/4)、
蔵書点検期間(9/7～9/18)
住所…富山市茶屋町206-3

交通…富山駅から地鉄バス高岡・小杉方面行き「呉羽山公園」下車、徒歩5分。または北代循環、新港東口行き「県立図書館前」下車すぐ
料金…無料
お問い合わせ…076-436-0178



URL <http://www.lib.pref.toyama.jp/>



富山県公文書館 未来に伝えるアーカイブズ

県政に関する文書を保存・活用し、県政や県の歴史に関する知識の普及を目的に開設された公文書館。置県以前の重要な古文書の研究、県の施策に用いられた公文書の選別・保存を行い、レファレンスに対応します。歴史講座や古文書教室も開催しています。

催し…歴史講座 4/29・5/17・5/31・6/14・6/28の全5回 [受講生募集] 4/2(月)～4/12(木)

古文書教室 [入門] 9/6～9/28の全4回 [中級実践] 10/25～11/15の全4回

※いずれも受講料無料 往復ハガキまたはホームページよりお申し込みください。

開館…9:00～17:00
休館…土・日・祝日、年末年始(12/28～1/4)
住所…富山市茶屋町33-2
交通…富山駅から地鉄バス高岡・小杉方面行き「呉羽山公園」下車、徒歩6分。

または北代循環、新港東口行き「県立図書館前」下車、3分
料金…無料
お問い合わせ…076-434-4050



URL <http://www.pref.toyama.jp/branches/1147/>

編集部から…「県広報とやま」は、次号6月号からタブロイド判に規格を変更し、大きな紙面でわかりやすい広報に努めます。